

修正  
日本修身書  
尋常小學用  
卷一

229

219  
6  
5

檢定申請本

K1201  
73  
1

K120.1

73

1

修正  
**日本修身書**  
尋常小學用  
卷一

東京 金港堂書籍株式會社

目次

- |     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 第一課 | 父母の恩  | 第九課  | 師弟    |
| 第二課 | 孝行    | 第十課  | 弘量    |
| 第三課 | 兄弟    | 第十一課 | 過ちを改む |
| 第四課 | 兄弟    | 第十二課 | 勤儉    |
| 第五課 | 信實    | 第十三課 | 仁慈    |
| 第六課 | 朋友    | 第十四課 | 學問    |
| 第七課 | 言語    | 第十五課 | 忍耐    |
| 第八課 | 驕慢を制す |      |       |



第一課 父母の恩

とりけもの

の子をおも



ふをみても、父母の

われらをおもふこと

のあつきをしるじ。



第二課 孝行

ふさはつね  
に父母の  
ぎよーを

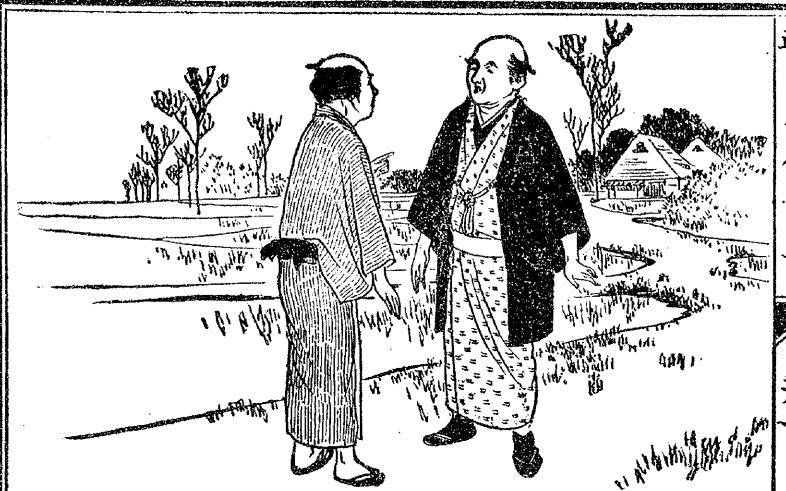
たすけ、またよくそのこ  
ころをなぐさめたり。  
父母のぎよーをたすくる  
は子たるものつとめなり。

第三課 兄弟

太四郎タシロウ 兄弟ケイロウ

はむつましく

まじはりて



おやのころをなぐさめ  
たり。

兄弟むつましくして父母の  
ころをよろこばすし。

第四課 兄弟

北條泰時ホージョーヤストキは

弟どもにももの

をわかつに



おのれは、すくなくとりて

弟には、おほくあたつたり。

兄あねは、弟いもうと

をよくいたはるべし。

第五課 信實



信太郎はいつ  
 はりをかたら  
 ずやくそくを

たがはずして、よく友だち  
 とまじはりたり。  
 友だちにまじはるには、  
 まことをだい一とす。

第六課 朋友

友だちのなん  
ぎしてある  
ときはこれ



をたすくべし。

直吉ナホキチは、友だちのいつのや

けたるときかねをかし

てねんごろにたすけたり。





第七課 言語

ことばをつつ

しまざればわ

ざはひをひき

おこすことあり。勇作ユウサクが、きや

くのころをそこなひた

るをみても、これをしるべし。

わざはひは、口よりおこる。

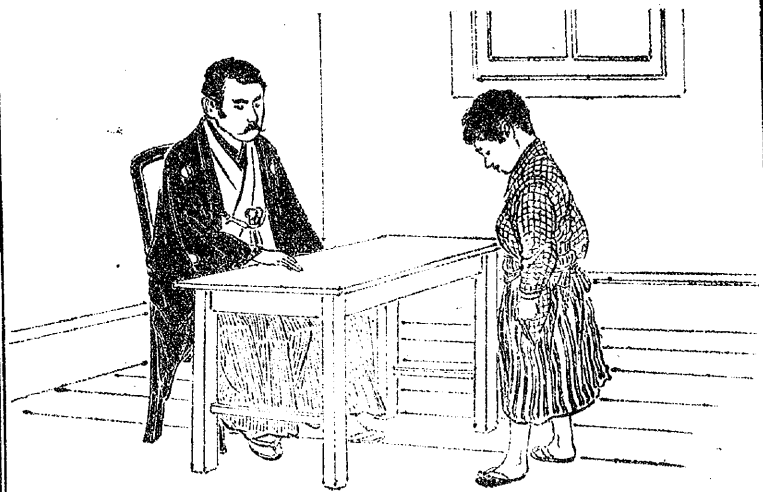
第八課 驕慢を制す

ヒヨースケ

兵助はもの

おぼえよき

こどもなり



しがこーまんのこころおこり

てがくげいをおこたりつひに

しけんにくくだいせり。

こーまんをいましめよ。

第九課 師弟

ワカバヤシ シンシチ  
若林新七はよ

く先生につか

つかくもんを



つとめて、なだかき人となり  
たり。

先生のおんは、おやにおなじ、  
先生をばよくうやまふじ。

第十課 弘量

イタククラシゲマサ  
板倉重昌はけ

らいにゆみを

をられしに、



すこしもとがめずしてそ  
のつみをゆるしたり。

かんにんのなるかんにんはたれも  
するならぬかんにんするがかんにん。



第十一課 過ちを改む

あることも、

さらをわり

てかくしおき

けるが父のはなしをききいて  
 大いにさとり、そのつみをわ  
 びたり。

あやまちはずみやかにあらたむじし。

第十二課 勤儉



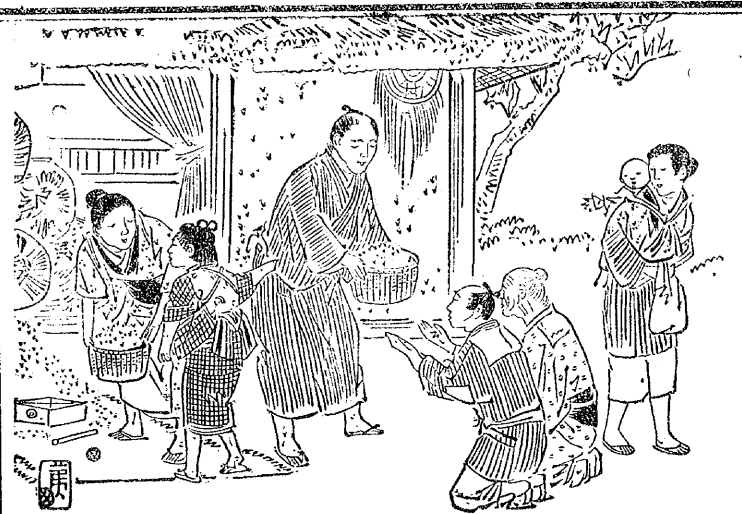
新七シンシチは、よく

ぎよーをつとめ

つひえをはぶき

ていつをおこし、つひにあまた  
の人をもつかふみとなりたり。  
よくつとむるとつひえをはぶ  
くとは、いつをおこすもとなり。

第十三課 仁慈



今右衛門夫婦は、

いふくたはたをう

りはらひてうゑ

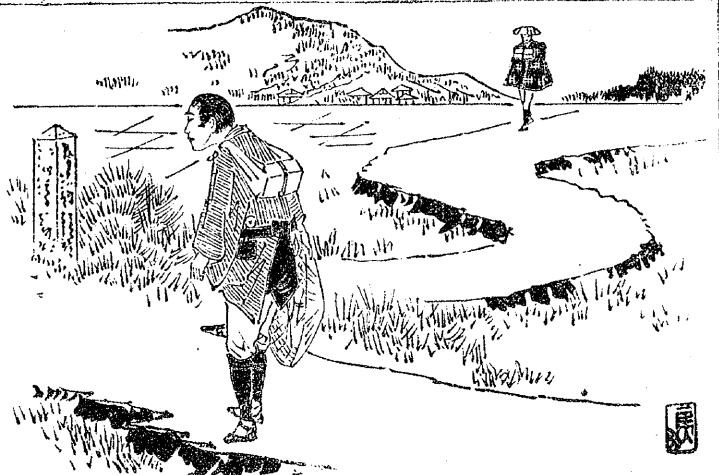
たる人をたすけまたそのむすめもい

ふくをぬぎてごごえたる人にあたつたり。

おのれあたたかなりともし人の

さむさをおもふべし。

第十四課 學問



よみがきをしろが  
ればよろづのこと  
にふじゆうおほし。

タケジロ  
竹次郎といへる人はみちしるづをよ  
みえずしてみちにまよひたりとぞ。  
かくもんはよろづのことを  
なしうるもとおなり。



第十五課 忍耐

小野道風はかは

づのやなぎのえ

だにとびつきた



るをみて、しんぼーのたいせつなる  
ことをさとりてならひをはげ  
みて、なだかきてかきとなりたり。  
つとむれば、なにごとともなる。

修正尋日修新

明治二十八年一月十五日印  
同 年一月十八日發  
同 三十四年四月廿四日修正再版印刷  
同 年四月廿八日發

行	刷	入四卷一	金四錢貳厘	卷三	金六錢六厘
行	定)	入四卷二	金六錢	卷四	金六錢六厘
(價	卷一	金六錢六厘	卷五	金六錢六厘	
卷二	金六錢六厘	卷六	金六錢六厘		

著作 渡邊政吉

發行 兼 金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表 原亮一郎

右社長

東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

賣捌所 各府縣特約販賣所



◎弊社ハ常ニ書籍ノ用紙印刷製本等ニ注意シテ勉メテ其堅牢ヲ期セリ、サ  
レド多數ノ中萬一學年間ノ使用ニ耐ヘザルガ如キ粗製ノモノ有之候ハ  
バ御通知次第無代價ヲ以テ御引換可申上候

◎本書ハ僻遠ノ地ニ至ルモ定價ヲ超過シテ賣捌カシムルコトナキハ勿論  
直接ノ御注文ハ多少ニ拘ラズ運賃ヲモ負擔可仕候



